

5. 課題等

項目		市所管課	団体
S W O T 分 析	内部分析	強み	・全国トップのハウレンソウ・夏秋トマト等全国一の産地を抱える中、県や自治体の預託金を受け、JA等協同した組織により安定して運営されている。
		弱み	・需要と供給のバランスが崩れた際、価格の下落による生産者への影響が多である。 ・収支をふまえた制度ではないため、物価高等農業経営への打撃には対応できない。
	外部分析	機会	・健康長寿社会の意識向上により安全安心な農作物へのニーズが高まる。 ・今後のスマート農業の普及により効率性や生産性が高まり、担い手不足の解消につながる可能性がある。
		脅威	・異常気象や災害の多発、激甚化により生産量の減少が見込まれる。 ・農家の後継者不足や高齢化による廃業により、担い手の確保ができなくなる。 ・国際情勢等による資材高の影響で、農業経営が圧迫され、安定供給の継続が不透明な情勢である。
事業面 (必要性、公益性、採算性、収益性など)		・異常気象や物価高騰の社会情勢の変化で供給・需要のバランスが不安定になるなか、県内野菜の安定供給と生産者の経営安定に寄与するため継続が必要。市内で該当している特定品目の生産者（ほうれんそう・トマト・大根）については品目ごとにばらつきはあるが、平均60%程度が加入している。	
財政面 (財務状況の現状や将来の見通しなど)		・事業実施においては、出荷量に応じた生産者造成額、国・県の補助金も併せ交付されており、財政面での問題は生じていない。	
施設・設備 (所有する建物や設備等の状況など)		・岐阜県JA会館内に設置、所有する建物はない。	
組織・人員体制 (役員や従業員等の状況など)		・事務局3名（事務局長1名・嘱託職員1名・パート職員1名）	
公共施設等総合管理計画 (方針と今後の考え方)		—	
自由記載 (団体や事業の今後のあり方や果たすべき役割について)			